



AR動画をダブルタップすると全画面表示になりますので、ずっとかざす必要はありません。

三芳町 AR

検索

↓ブースの応援に駆け付けた Juice=Juice の皆さん。



## 里山で遊ぶ。暮らす。育てる。 SATOYAMA&SATOUMI movement2017

3月25日(土)・26日(日)に幕張メッセで行われた「SATOYAMA&SATOUMI movement 2017」に今年も三芳町は参加(詳細はP30-32)。「三芳町に行ってみたくなった」「今まで知らなかったけど、意外と東京から近くて自然が豊かな町だと魅力を感じた」などの声が。2日間計4万6千人が来場したこのイベント。三芳町ブースに来ていただいたタレントの皆さんの直筆サインなどを三芳町役場1階に展示しています。

↓総合運動公園の管理事務所前で植樹と防災ブザーの寄贈を実施。



## 未来を担う子どもたちに緑と安全を トラックの森づくり&ブザー贈呈

3月30日(木)、埼玉県トラック協会が「トラックの森づくり事業」として総合運動公園にイジュ、ハナミズキ、シダレザクラ、北新埜中央公園にモミの木を植樹をしました。「三芳町の未来を担う子どもたちが、緑に囲まれた環境で豊かな感性をもって夢や希望をもって成長してほしい」という想いから実現。さらに毎年恒例となった新小学1年生にトラック型の防犯ブザー390個の寄贈がありました。

## 新学校生活を見守るワッペンを

→ワッペンには交通事故傷害保険もついています。



3月21日(火)、みずほ銀行から町内5つの小学校の新1年生へ「黄色いワッペン」が贈呈されました。元気に通学する子どもたちの交通事故防止のために昭和40年から始まったこの事業は今年で53回目を迎えました。毎年全国の新1年生に渡し、子どもたちの交通安全にいかされています。

## 安全に学校に通うためにできること

→事故防止活動の一環として寄贈を行っています。



3月29日(水)、新1年生の交通事故防止を図るため、東入間交通安全協会から『交通安全の小冊子』と『れんらくケース』が寄贈されました。会長の忽滑谷徹雄さんは「小冊子には、急な飛び出しはしないなど大事なことがたくさん書いてあるので、子どもたちに読んでもらい、事故なく学校に楽しく通ってほしい」と語りました。

## 三芳の未来に新しい風が吹く

→役場庁舎前で新入職員全員でジャンプ！



今年度、三芳町では事務職8人、司書2人、技術職2人、精神保健福祉士1人の計13人が新規採用職員として入庁。「20自治体くらい説明を聞きましたが、一番職員間の距離が近いと感じました。小さな町なので住民との距離も近いことも魅力です。町を知り、いろんなことに挑戦したい」と新採用職員の一人は目を輝かせ決意を語りました。

## 道路標識覚えて安全な登下校を

→街頭活動などで啓発を行っています。



3月28日(火)、交通安全母の会の皆さんから、新しく入学する子どもたちのために『交通安全啓発クリアファイル』が贈呈されました。「小さい頃から交通安全意識を高く持ってもらうことがとても大切。ファイルには道路標識が書いてあるので、ぜひ安全な登下校のために活用してもらいたい」と会長の大谷み代子さん。

いいね三芳町

検索



## 初期消火の重要性を わかりやすく伝えたい

### 町消防団ハイパー初期消火隊

火災発生時、最も重要な初期消火。その重要性を伝えるために、三芳町消防団では「ハイパー初期消火隊」を結成し、町のイベントなどで活躍しています。このたびDVDやポスターを自作で製作し普及活動に勤めています。「YouTubeで私たちの活動を映像で観ることができますので、ぜひご覧ください」。



↑ハイパー初期消火隊の皆さんと製作した皆さんが町長を訪問しました。

↓みずほ台駅のある富士見市の星野市長とがっちり握手。



↓北永井第2集会所の広場を道路に見立てて講習をします。



## 待望のエレベーターが西口に完成 みずほ台駅西口にエレベーター稼働

今までみずほ台駅東口にしかなかったエレベーターでしたが、西口にも設置され3月31日から利用できるようになりました。「車いすの人やベビーカーを利用する人たちは、一度踏切を渡らないとエレベーターを使用できませんでしたが、今回の設置でそうした皆さんの利便性の向上につながると思います」と富士見市長とがっちり握手を交わしながら林町長は話しました。

## 正しい知識で交通安全を遵守 北永井自転車講習会を地域で実施

3月29日(水)、北永井第2集会所で自転車を運転するときに必要な知識などを学び、交通安全につなげるために行われた北永井自転車講習会。この日の時点で県内では45件の事故があり、前年よりも増加傾向。主催者は「県内の事故では65歳以上の事故が多く60%を占めています。特徴は自宅から1km以内での事故。身近な場所こそ危険が潜んでいるんです」と注意点を伝えました。